

# 活用編

# 協働による取組みの指針(活動事例をもとに)

## ※地域

私たちが住む身近な周辺地域を指す言葉として用いる。

みどりの将来像を実現するためには、地域の特徴を活かしながら、市民、活動団体、企業、大学など専門機関、行政の協働によるみどりづくりや守り・育てる取組みが欠かせません。

ここでは、地域の特徴を活かしたみどりづくりのあり方と、それぞれの担い手によるみどりを守り・育てる具体的な取組み例を、住宅地、商業・業務地、川沿い、里山、里地をモデルケースとして提示します。

## 地域のみどりづくりや守り・育てる担い手の主な役割

### ● 市民

自宅での庭づくりや公共空間などのみどりづくりを通じた地域のみどりづくりに協力・参加するほか、活動団体の活動に参加・参画することにより、みどり豊かなまちづくりに取組みましょう。

### ● 活動団体

独自の緑化活動をはじめ、行政と協力しながら協働による活動をすることにより、みどり豊かなまちづくりに取組みましょう。また、市民への情報発信、アドバイスを行うなど、緑化活動の機運を高める先導役として、札幌のみどりづくりを支えましょう。

### ● 企業

CSRや社員の環境意識の啓発、所有地の緑化など、独自の緑化活動のほか、市民活動への資材などの提供、人材の提供など、緑化活動に参加・参画することにより、地域のまちづくりに取組みましょう。

### ● 大学など専門機関

専門的・学術的な視点から、情報の発信や地域の緑化活動へのアドバイスなどの支援をはじめ、大学自ら地域と連携して緑化活動に参加・参画することにより、地域のまちづくりに取組みましょう。

### ● 行政

情報提供や、活動の場や機会、資材の提供などの支援や活動のコーディネートといった調整・誘導のほか、活動にかかわる人材育成などの基盤づくりを行い、市民などの活動の促進を図り、みどり豊かな札幌のまちづくりを推進します。

## ※CSR

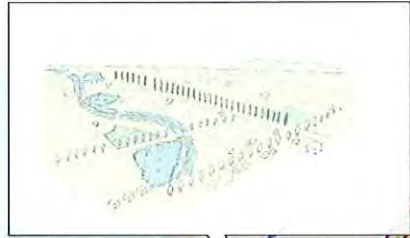
(Corporate Social Responsibility)

(コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティ)企業の社会的責任。企業は社会的な存在であり、自社の利益、経済合理性を追求するだけではなく、ステークホルダー(利害関係者)全体の利益を考えて行動するべきであるとの考え方であり、行動法令の遵守、環境保護、人権擁護、消費者保護などの社会的側面にも責任を有するという考え方。

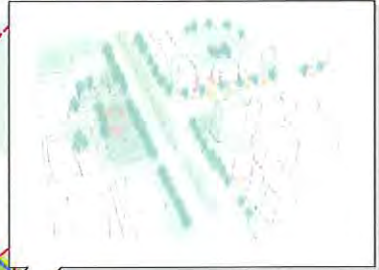


## B 地域の特徴を活かした活動について

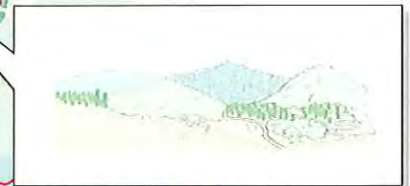
●里地の活動 P.090



●商業・業務地の活動 P.074



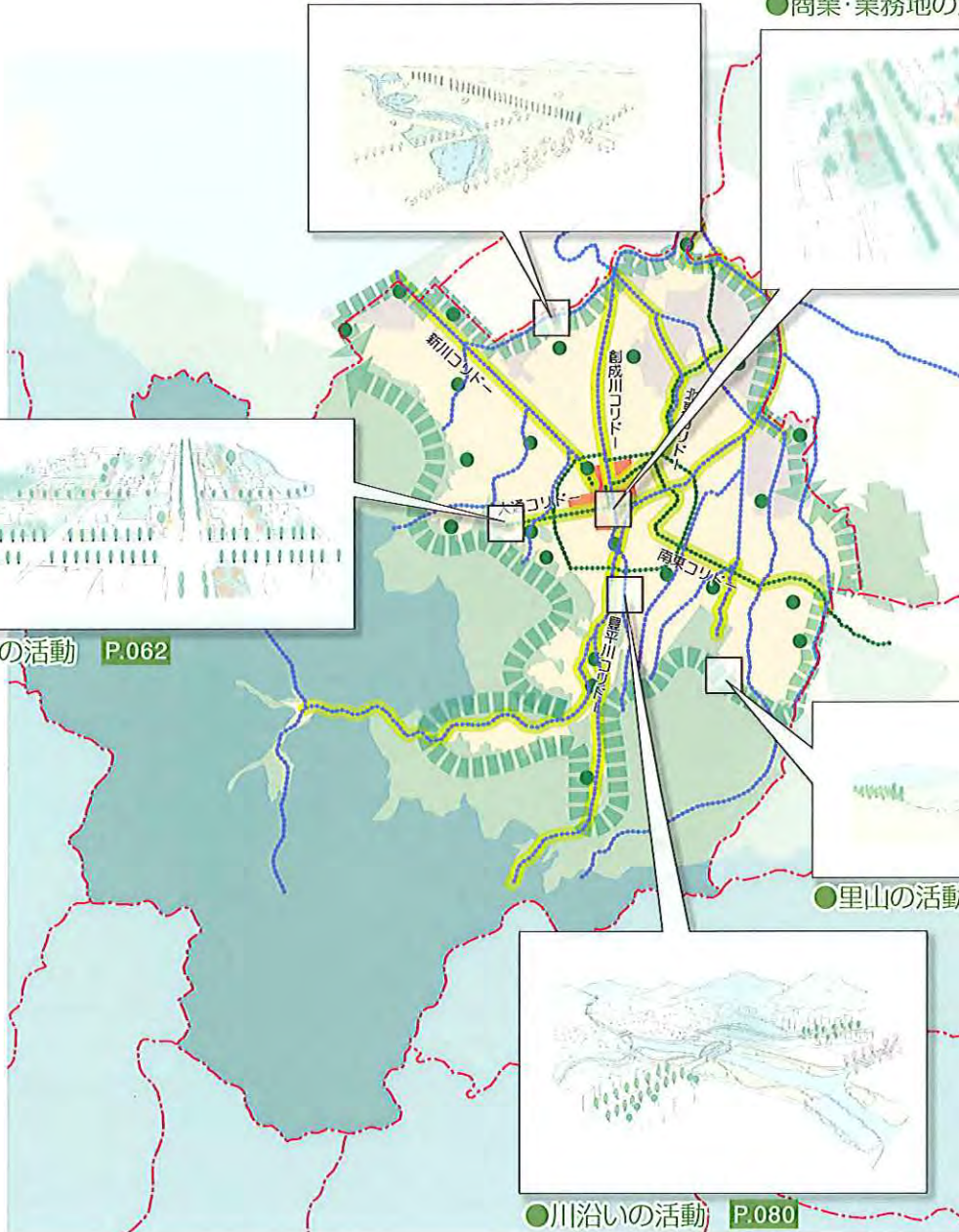
●住宅地の活動 P.062



●里山の活動 P.085



●川沿いの活動 P.080





## ◎住宅地の活動

### <住宅地のみどりづくりのあり方>

住宅地のみどりづくりは、住宅の庭や商業施設などの民有地で、緑化を自ら行うほか、今あるみどりの保全、街路や公共施設などで地域の歴史や文化を感じる花づくり、並木づくりなどの緑化活動を行い、特徴あるみどり豊かなうるおいある住環境づくりを目指しましょう。

○民有地を活かしたみどり豊かな環境づくり **P.063** 関連する主なプログラム⑤⑥

**①家庭のみどりづくり** **②商業施設などのみどりづくり**

○街路を中心としたみどりのつながりづくり **P.065** 関連する主なプログラム④⑥

**③植樹樹などの花づくり** **④コミュニティガーデンづくり** **⑤街路樹の育成・管理**

○地域のみどり・花の拠点づくり **P.068** 関連する主なプログラム④⑥⑩⑪⑫

**⑥公共施設のみどりづくり** **⑦学校などのみどりづくり**

**⑧地域の魅力を高める公園づくり** **⑨貴重な樹林や樹木の保全と活用**

○河川を活かしたみどりのつながりづくり **P.073** 関連する主なプログラム④⑥⑪

**⑩身近な河川の活用**

